

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★鈴木牧場・新牛舎応援基金 500255 1口500円で期間中(期間:2024年4月2回～2025年3月4回)は毎週募金できます。
★脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 500256 1口200円で毎週受け付けています。



News Letter

2024年10月5回号発行:常総生協広報G
2024.10.14

山形県・庄内協同ファームの皆さんからのおたより

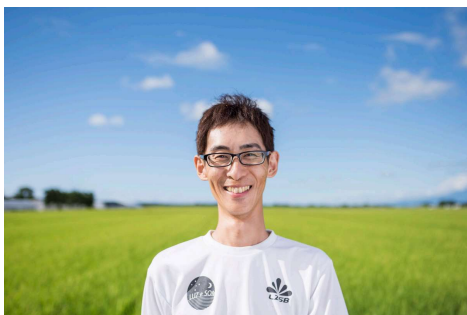


下段右端：代表の小野寺さん

毎年お餅や柿を供給頂いている「庄内協同ファーム」（山形県・庄内平野）は、今年7月の大雨の影響で大きな被害を受けました。10月5回商品カタログにて「**庄内協同ファームの応援企画**」を行います。今こそ組合員の買い支える力で一緒に産地を応援しましょう！
カタログでは、庄内協同ファーム代表理事の小野寺さん、製造課の佐藤さんから頂いたコメントも掲載しておりますのでそちらもあわせてご覧ください。

2024年10月の予定	
○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総っ子応援団」in流星台プレイパーク:毎週木曜日 10～14時 活動中です！（出入り自由）	10/19(土)関東子ども基金「甲状腺検診@松戸」
10/21(月) みらい平郵便局イベント	10/26(土)関東子ども基金「甲状腺検診@那須塩原」
10/26(土)・27(日) 光風台まつり10～15時	10/27(日)関東子ども基金「甲状腺検診@矢板」

ご挨拶とご報告



こんにちは。今期から庄内協同ファームの副代表理事を務めさせていただくことになりました五十嵐勇輝と申します。常総生協の組合員、職員の皆様には、いつも私たちの活動を支えてくださり、心から感謝申し上げます。

現在、私は米と枝豆を生産しており、今はちょうど稲刈りの真っ最中です。今年の7月25日に発生した豪雨では、収穫直前の枝豆が浸水し、収量が半減してしまいました。私の圃場では畑に溜まった水がなかなか引かず、どうすることもできない状況でした。また、お米も減収傾向にあります。追肥後の大雨で養分が流れてしまったのか、登熟不足が見受けられます。さらに、一部の生産者の圃場では、他の圃場からの雨水の流入があり、有機認証にも影響が出てしまいました。

このような困難な状況にもかかわらず、皆様の応援のおかげで前向きに進んでいくことができます。また、お米に関しては昨年は高温障害の影響を受けましたが、今年はそのような問題が少なく、安心してお届けできる品質となっています。



写真：冠水状況

庄内協同ファームはこれからも安心安全を最優先に考え、皆様に高品質な食品をお届けするために努力していきたいと思います。そのためにも未来に向けて以下の取り組みを進めてまいります。

まずは、持続可能な農業の推進。環境負荷の少ない農法で土壌の健康を保ちながら高品質な作物を育てます。そして、地域の農業者との連携を強化し、協力し合いながら共に成長していくための関係性を構築します。また、農業技術の革新を取り入れ、生産効率を向上させるとともに、品質の向上を図ります。

これからも庄内協同ファームは、皆様のご支援を受けながら、地域に根ざした農業を続けてまいります。どうぞ引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

副代表理事 五十嵐勇輝

常総生協の営業窓口♪



皆様からの温かいお言葉が励みになり、生産者はじめ従業員一同、美味しいお餅をお届けしたい一心で日々頑張っております。煮てもよし！焼いてもよし！意外と洋食にも合う！大好

評のお餅です。いつもの食べ方はもちろん、普段のお料理にプラス食材として入れるだけで色々な食べ方が楽しめます。

お餅の他にこだわりの加工品も取り扱いしておりますので、お餅と一緒にぜひご賞味ください。

事業管理課 本間美佳

10月5回掲載 お餅の商品番号

8番：白丸もち 9・10番：白切もち
11番：玄米丸もち 12・13番：玄米切りもち
14番：有機白切りもち 15番：有機玄切りもち

常総生協に関わるみなさん、こんにちは(^ ^)
ハチドリ仲間(南米・先住民の昔話、森の火を消そうと
小さな嘴・くちばしで水を運ぶハチドリのお話より)をつなぐ
新しいコーナー「ハチドリ・レター」です。
今週は理事の藤原さんからです♪



**今回は、「マイクロプラスチック・ストーリー」という映画の紹介と、
スポンジではなく和綿の布巾を使って食器を洗ってみませんか？というおススメです。**

「マイクロプラスチック・ストーリー」という映画のオンライン上映会＆座談会に参加したので報告させていただきます。

この映画は、ニューヨークのある小学校の5年生2クラスの児童たちが、マイクロプラスチックが環境に与える問題を学び、活動した2年間のドキュメンタリーです。

道端にどのようなゴミがポイ捨てされているか、それらが風雨や下水道を通して海まで行き、海の生き物たちにどのような影響を与えているか。このままだと、2050年には海中のプラスチックが海の生き物の重さを超えちゃうよ！何とかしなくては！子どもたちは、様々な分野の専門家から学び、自分たちにできることを考え、市議会にも訴えました。「学校給食に使い捨てプラスチック容器を使わないで！」市議会で採用され、やがてそれは周りの自治体にも広がっていきました。その後アメリカでは、2035年までに政府で使うものに使い捨てプラスチック使用廃止の法案が可決されたようです。

日本では、学校給食の容器は使い捨てプラスチックではありませんし、道端にポイ捨てされるゴミもさほど多くはありません。でも、ペットボトルをリサイクルするにも多くのエネルギーが必要ですし、化学繊維の服は着ているだけ空気中にマイクロファイバーを振りまき、それを洗濯すれば大量のマイクロファイバーが海に流れていきます。今や、北極や南極の海から

も、大量のマイクロプラスチックが検出されるそうです。それらは海に住む生き物の胃の中や海水から作られる塩にも含まれ、私たちも意図せず口にしてしまっています。

プラスチック製品の利用を減らし、再利用できるものは再利用する、自然素材の衣類を着用する、洗濯回数を減らす、目の細かい洗濯ネット(できればオーガニックコットン製)を使用するなど、できることから取り組みたいと思います。

無農薬の和綿から作られた布巾は、環境にも優しく食器洗いにも最適です。ぜひ、使ってみませんか？



映画についてもっと詳しく知りたい方は、『マイクロプラスチックストーリー』と検索するとホームページがありますのでご覧ください。上映会も時々開催されるようです。(理事 藤原弥生)



【予告♪】「和綿の食器洗い」をはじめ、プレゼントにもピッタリな赤ちゃん用の衣類、ハンカチなどの小物などを後日企画致します。生協本部の裏の畑で育てた「綿」から作った製品です。お楽しみに♪

ハチドリ・レターでは、生産者さん、職員さん、組合員さんのみなさんからの、何か活動に参加したよ、といった報告や、ハチドリ・レターへの感想を募集しています！先日は、「『ハチドリのひとしずく』、読んでみます。」というメッセージを組合員さんから頂きました。とっても嬉しかったです^^

2024 あべchan.com 9月号

今年の夏は駒ヶ根のロープウェイを使って宝剣岳と木曽駒ヶ岳を合わせて登ろうと思ったのだが…。台風が接近して来っていたので断念。ならば北の方の鳥海山は…。やはり雨が激しく降りそうなので断念。残念。過去に3回登っている鳥海山ですが、いつでも快晴に恵まれて楽しい思い出しかない。その昔、下山している時に私の右肩に何かが落ちて来た？と、言うかやって来た！目一杯に首を回して右肩の方を見てみるとお互いに目が合った。多分見つめ合った。実は初めて生きてる本物を見た。その名はオニヤンマ。君の名はオニヤンマ。トンボとは思えない大きさ。肩乗リインコより全然大きい。捕まえようとしたら逃げそうだったので、そのまま下山する。旅は道連れ。ただ、こいつは耳元でカリカリ言っている。まさか耳をかじったりしないかな？答えは、やはりカリカリ言っている。まあ、オニヤンマの偽物を虫除けに使っている人もいはいし。こちとら本物のオニヤンマを装備しているから虫は一切寄って来ないはず。右肩にすでに虫は居る。けっこう激しく下山していたが10分ぐらいいは一緒に下山した。途中、登って来る人とすれ違ったが右肩のオニヤンマを見たはずなのにサウッと行ってしまった。虫だけに無視したのかも知れない。

～担当者News・「あべChan.COM(あべちゃん・ドットコム)」～

供給担当者は、概ね月に1回組合員向けのお便りを発行します。中でも阿部職員が毎月発行する「あべChan.COM」は、組合員のファンも多いニュースのひとつ。「引っ越しで阿部さんの担当から外れてしまいましたが「あべChan.COM」は読みたい！」とのお声も。今後も時々この紙面でもご紹介いたします♪